

宜野湾市長 佐喜眞 淳 殿

宜野湾市議会
議長 呉 屋 等

宜野湾市議会からの政策等の提言について

本市議会においては、議会基本条例第 10 条に基づき、本市議会 10 回目となる「議会報告及び市民との意見交換会」を実施しました。

本年度は、昨年同様に会場において直接市民から御意見を伺うとともに、インターネット等でも並行して御意見の聴取をさせていただきました。また、新たに市民同士・議員との対話が活性化される「グループワーク形式」を導入し、より多くの声が届き、交流の深まる場となることを目指しました。その結果、令和 7 年 4 月 25 日から 5 月 18 日の 24 日間で 130 件の市政等に関するさまざまな御意見、御要望をいただき、本市議会の政策討論会における協議を踏まえ、下記のとおり政策等として提言することといたしましたので報告いたします。

つきましては、当該提言の趣旨、内容等に御理解をいただき、その速やかな実施に向けて格別なる御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

また、そのほかの意見等についても、今後の市政運営の参考としていただきたく、議会の回答を付して申し送りすることといたしましたので、御参照いただきますようお願い申し上げます。（別紙参照）

記

1. 普天間交差点における交通渋滞対策について

国道 330 号普天間交差点は、令和 6 年 12 月より普天満宮向けの車線運用の見直しが行われたが、朝の通勤時間帯や夕方の帰宅時間帯など、以前よりも交通渋滞がひどくなっており、元の車線運用に戻すなど、市民から改善の要望も寄せられている。

南部国道事務所は、車線運用変更後に周辺の交通状況も併せて、交通量調査を行ったとのことであるが、調査結果を踏まえ、市としても状況把握に努め、早急に改善策を検討のうえ、国等関係機関に対し要請していただきたい。

2. 小中学校体育館への空調設備の設置について

近年、地球温暖化の影響により猛暑が常態化し、特に熱がこもりやすい体育館での学校行事や体育活動などを行うことによる熱中症リスクが懸念されており、児童生徒の健康と安全確保のため小中学校体育館への冷房設置について、市民からの要望が寄せられている。

学校施設は、こどもたちの学習生活の場であり、災害時には指定避難所としても活用される場であるため、熱中症対策だけでなく避難所機能の強化、耐災害性の向上が期待できる。

以上により、小中学校体育館への早急な空調設備の設置を検討の上、環境整備を実施していただきたい。